

2019年4月9日

DE-SIGNO /デ-シーニョ

レオナルドが残したイタリアデザイン文化

Salone del Mobile.Milano / ミラノサローネ国際家具見本市（以下、ミラノサローネ）は、フィエラ会場内でもレオナルドの才能へ敬意を表します。ホール24において、俳優ディエゴ・アバタントゥオーノの魅力溢れる語りにも導かれマエストロの時代から現代に至るまでの、イタリアのデザイン力と実行力のインスタレーション。

レオナルド没後500年を記念して、ミラノサローネは市内だけでなく、フィエラ会場でもイタリアのルネサンスが生んだ万能天才に敬意を払い、レオナルドが私たちへ残してくれた作品、彼のデザイン力と実行力を称賛するインスタレーションを未だかつてデザイン界になかったテーマを掲げて開催します。4月9日から14日まで、ホール24において開催される「DE-SIGNO/デ-シーニョ」は、オフィシャルイベント「Milano-Leonardo500/ミラノ・レオナルド500」の一環としてイタリアデザイン文化の変遷、レオナルドの才能と現代のイタリアのデザインとの関係を語ります。

ミラノサローネのプレジデント、クラウディオ・ルーティ氏コメント：

「デ-シーニョ ～レオナルド前後のイタリアデザイン文化の変遷～ のインスタレーションは、サローネとミラノの絶え間ない相乗効果が企業と結びつきクリエイティブな作品を生み出していることの重要性を示し、ミラノ市が捧げるレオナルド没後500年イベントの一環として、サローネから素晴らしいアーティスト、そして発明家へのオマージュです。レオナルドというと、天才、好奇心、実験好き、文化と革新を融合させたい願望、そういったイメージで、それはつまり、才能、研究、思考能力といった私たちすべての価値観の象徴で、同時に、思考を具体化することを可能にするため、考え、実行する能力です。」

ダビデ・ランペッコ キュレーションの「イタリアデザイン文化 レオナルド前後の変遷」はフィエラ会場ホール24で開催、私たちの土地から生まれた特別な宝物を、デザイナーと工房の関係に触れながら語ります。



レオナルド・ダ・ヴィンチは、15世紀の終わりにミラノへやって来ました。そしてスフォルツァ家のルドヴィーコ・イル・モーロ公の元で働き始めます。それから20年近く留まったロンバルディア州は、レオナルドの一生の中で一番深い繋がりを築いた土地だったと言われています。当時も、ミラノは今日のように大変ダイナミックな街でした。アートとクラフトの工房はノウハウと創造性に満ち溢れ、エンジニアや建築分野は非常に高いレベルに達していました。**デザインの文化は、レオナルドの才能とイタリアのデザイナーの世界が深く結びついたもの**と言えます。

デ・シーニョは、**映画と劇場**を魅力的でエキサイティングな手法で組み合わせた**没入型インスタレーション**です。内部では、**映像と音楽のショー**がレオナルドのデザイン、活気あるルネサンスの工房の実行力とそこから生まれた**コンテンポラリーデザインの関係がイタリアの美しき文化に存分に浸りながら**語られます。

ダヴィデ・ランペッコ発案、建築家アレサンドロ・コロombo設計のインスタレーションは、**400㎡四方のスペースを占め、高さ6m、幅3mの大きな入り口は記念碑的な景観**を持ち、彫刻家や画家の手によって全て木で創られた内部は、レオナルドの時代にミラノで活躍した建築家、**ブラマンテによるオリジナルのドローイングや研究にインスパイア**されています。内部に現れる2つの舞台は、ルネサンスを代表する都市、**フィレンツェとミラノの展望**が描かれています。パビリオン内は植物のレリーフで覆われ、スフォルツェスコ城内のダヴィンチの傑作「アッセの間」を彷彿させます。**映画館のような4つの大型スクリーン**が、ミラノ出身の俳優**ディエゴ・アバタントゥオーノ**の語りに導かれ来場者を包み込むような音楽と映像のショーに誘い込みます。

ダヴィデ・ランペッコ教授のコメント：

「この作品のインスピレーションの背後にある意図は、「プロジェクト」の文化についての認識を高めることでした。「プロジェクト」、つまり「デザイン」(= “design”、英語の派生語)は、イタリア文化のDNAの基盤となっています。ラテン時代(*de-signo*)以降、2000年の歴史を驚くほど経て、レオナルデスキ(レオナルド派)のように常にその素晴らしさは継承されてきました。だからこそ決して忘れてはいけません。常に再認識し続けるべきなのです。」



Salone del Mobile.Milano

クレジット

クリエイティブ・アンド・エグゼクティブ・プロダクション ダヴィデ・ランペッコ&パートナーズ フォー・サローネ・デル・モービレ

コンセプト・アンド・アーティスティック・ディレクション：ダヴィデ・ランペッコ
アーキテクチュアル・プロジェクト・アンド・グラフィック・デザイン：アレッサンドロ・コロンボ

プロジェクト・マネージャー：タニア・ベルナルド

セット・デザイン：アルド・ソルバーティ

コンポーザー・アンド・ミュージック・スーパーヴァイザー：アレッサンドロ・リンツィット

ビデオ：Natia Docufilm

4月9日(火)～14日(日)

ホール 24

ロー・フィエラ・ミラノ

9:30～18:30

Salone del Mobile.Milano Japan Press PR 山本幸 yuki@milanosalone.cm

Salone del Mobile.Milano Press Office :

Marva Griffin Wilshire – Patrizia Malfatti press@salonemilano.it